

福賀すいか生産者の夢(交流給食)

大きな福賀すいかは家族や仲間と分け合うもの。夢は、すいかづくりをとおして家族や仲間を大事にする人をたくさん増やしたいということ！

仕事のやり甲斐は、やっぱりみんなが「おいしい！」と言って食べてもらえること！



子どもたちが地域特産品等の生産者をお招きする「交流給食」に、今年度も「福賀すいか」の生産者 梅田さんが登場！6年生が質問攻めの交流となりました。

給食でこのサイズ！

なぜか後から後から甘さが強く感じられます！



通常7kgで「大きい」と称されるが、今年持って来てくださった「福賀すいか」はなんと18kg！

寒暖差の大きい気候を生かし、栽培が難しいとされる「紅大」という品種を「一株一果どり」で大切に育て収穫する「福賀すいか」は、「エコやまぐち50」の認定に加え、大きさ・甘さ・シャリシャリ食感などから阿武町を代表する特産品となっています。